



3月号 令和6年3月6日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

例年になく、気温の寒暖差が激しく戸惑ってしまう毎日ですが、花壇にはパンジーなどの花が植えられ、かわいらしく咲いています。校門前の桜の花芽も、心なしか膨らんできているように見えます。春ですね。

6年生は、19日(火)の卒業式まで小学校生活も残すところわずかとなりました。さまざまな場面で、最上級生としての自覚ある行動を見せてくれた6年生。仲間や下級生に対する優しい心にあふれた6年生。本当に頼もしく、下級生があこがれる魅力のある存在でした。

今年度も残すところ1か月。これから在校生は、6年生の後を受け継いで鶴が台小学校の素敵な文化を引き継いでいきます。4月には、新1年生が仲間入りします。1年生から5年生のみなさんには、今の6年生の姿をお手本として、進級する準備や心づもりをしていってほしいです。



卒業に向けて

卒業式には5年生が在校生代表として参列します。6年生の姿を見ながら、「これからは自分たちが鶴が台小学校を引っ張っていく」という思いが強くなるのではないかと考えています。4年生以下の児童につきましては、前日のお別れ式で6年生の卒業をお祝いし、卒業式当日は臨時休業となります。

卒業に向けて6年生は、「未来への第一歩」というテーマのもとに卒業プロジェクトとして、卒業アルバムや卒業文集を作り、卒業式の呼びかけの言葉を考え、会場である体育館の壁飾りを作成しています。一人ひとりが責任をもって取り組んでいる姿は、とても素晴らしいです。卒業へ向けて、自ら一步一步進んでいます。

卒業式当日、6年生の保護者の皆様には、立派に成長した子どもたちの姿をご覧いただきたいと思います。

6年生を送る会 ～ハッピースマイル～

2月28日(水)の1・2時間目に、全校児童が体育館に集まって、6年生を送る会(ハッピースマイル)を実施しました。6年生は、一人ひとり名前を呼ばれて、スポットライトに照らされながら体育館に入り、中央でパフォーマンス!そこからステージ前の座席まで歩きました。みんなに注目されながらの入場は、緊張や照れがあったと思いますが、全校児童の前でも笑顔で自己アピールしていました。在校生も、縦割りグループ等で一緒に活動した6年生の姿を見つけては、歓声を上げながら祝福の拍手で迎えていました。「小さな学校 大きな家族」の中で過ごした6年間による人間関係には絆ができていて、安心して過ごすことができる学校生活だったことを感じられる一面が見られました。

短い時間ではありましたが、各学年からのお祝いの気持ちを表した歌やダンス、クイズがあり、また6年生からもメッセージが伝わる劇や合唱の披露がありました。当日は、縦割りグループで集まり、給食も食べました。みんなの気持ちがひとつに集まった、心温まる時間になりました。



離任式について

子どもたちが卒業していくことと同様に、3月いっぱい鶴が台小学校を去る先生方もいます。3月25日(月)に行う修了式のあとに、お別れする先生方の離任式を行います。離任する職員につきましては、3月22日(金)にお知らせを配布いたします。また、卒業生のご家庭にも、離任式についてのメールを送らせていただきます。